

連盟創立 50 周年記念 PR(O-80)堺大会報告

日時:2024 年 10 月 23 日(水)・24 日(木)

場所:J グリーン堺

第 1 試合

10 月 23 日(水)14:40～

京都暁+関西連合 4 - 0 大阪 FC80

少し雨がパラついたが、曇りの絶好のコンディションで天然芝のピッチでゲームが行えた。もののけの森本の鋭い右サイドからの切り込みで先制点をあげる。西の緩急をつけた切れのあるドリブルと左足の鋭いシュートを次々と決めて前半 3-0 で折り返す。後半は北河内の栗原も西のシュートをゴール前で合わせてダメ押し点、滋賀の松木の献身的な中盤の活動と粘り強いディフェンスライン(内藤・中川・栗原・小竹)で相手の攻撃を抑えた。サイド攻撃(久保田・森本)も目を見張るものがあった。今回、合同チームでの試合となったが、豊富な経験値で互いの意思疎通もコンビネーションもうまく機能した試合だった。

第 2 試合

10 月 24 日(木)9:40～

京都暁+関西連合 7 - 0 熊本オールドキッカーズ+神戸 80

京都暁は昨日のメンバーに牛場・中山・矢吹が加わりセンターバックの中山からの指示で西・矢吹・松木の中盤の活動量が目立った。トップの牛場の突破力とシュート力が発揮されて前半だけでハットトリック。後半は牛場・森本がアシストを意識してクロスボールに久保田が 2 ゴール、矢吹の水から切り込んでの鋭いシュートでゴールを奪った。暁の課題だったどこからでもゴールを奪えるサッカーが少し見えてきた内容だった。

第 3 試合

10 月 24 日(木)11:40～

京都暁+関西連合 2 - 1 中部連合(愛知・福井・富山)

今大会の最終試合。素晴らしい天然芝のピッチでゲームが始まった。名古屋 500 クロウズ+三河ロイヤル・福井フェニックス・富山足軽の混成チームとの対戦となった。一進一退の好ゲームとなった。両チームともラインの上げ下げが激しく狭いスペースでのパスワークの応酬となった。前半 6 分中山の中央からのロングシュートが決まり先制したが、12 分に左サイドを突破されセンターリングをトップに合わせられ同点ゴールを奪われてしまう。後半は 7 分、厳しいマークを受けていた牛場だが、相手でディフェンス陣の重なりの一瞬のスキについて中央突破 30 メートル近い距離をドリブルで突き進み勝ち越しのゴール。お互い勉強になるいいゲームであった。

京都暁 PR として参加したが、高齢での体調管理が難しく今回不参加となってしまったメンバーもおられた。今大会の夜の交流会では懇親会後の 2 次会で 80 代 70 代の京都と滋賀のメンバーが大いに交流を深めることが出来た。

報告者:中川保彦、橋本 悠

